

裁判 「傍聴の平等」について考える

年 組 名前

不妊手術を強いられた障害者らが起こした国家賠償請求訴訟で、最高裁判所は大法廷で開く弁論で、過去最大規模の配慮を行いました。傍聴の平等をめぐる現状や課題について、記事を読んでみましょう。

①最高裁は弁論で、どんな配慮をするとしていますか。

②配慮の背景には、各地の訴訟で当事者らが繰り返し要望してきた経緯があるようです。仙台訴訟と札幌訴訟で何が可能になったのか、次の表の（ ）に入る言葉を書きましょう。

仙台訴訟	傍聴券を求めた抽選で（ ）は外れ、（ ）だけが当たるといった不都合が生じた。その後（ ）に入れるよう仙台地方裁判所に求め、協議を経て実現した。
札幌訴訟	たん吸引のための出入りや（ ）が認められた。車いす用に（ ）を外せるようにしてもらった。

③残る課題として、法廷までのルートに案内役の手話通訳者2人を配置する一方、何が実現していないのですか。

④あなたの住む地域の公共施設で、障害者など困難がある人にどんな配慮がされていますか。調べてみましょう。また、さらに配慮した方がよいと思うことは何か、友達と話し合ってみましょう。

障害者ら多く集結 強制不妊訴訟

「傍聴の平等」貴重な前進

不妊手術を強いられた障害者らが起こした旧優生保護法国家賠償請求訴訟は、誰一人取り残さない「傍聴の平等」を求めた闘いでもあった。最高裁は29日に大法廷で開く弁論で、障害者らに過去最大規模の配慮をする。初提訴から約6年4カ月。弁護団や支援団体は積み上げた先にあつた成果を喜びながら、なお残る課題に向き合う。

要望続け 最高裁が過去最大の配慮

知的障害のある人、車いすや人工呼吸器を使う人、視覚や聴覚の障害のある人…。各地の裁判所には、旧法問題を「自分事」と捉える障害者らが傍聴に駆け付け熱気を帯びた。

旧法訴訟は、12地裁・支部で提訴。弁護団や支援者は、法廷での合理的配慮を求め、各地の裁判所と交渉を重ねた。最高裁に対しても、繰り返し要望を続けていた。最高裁は弁論で、案内表示

最高裁が行う障害者への過去最大規模の配慮事例

(弁護団への取材による)

- 案内表示にルビ
- 法廷までのルートに手話通訳者を配置 (裁判所が費用負担)
- 手話通訳や要約筆記の利用を認める (利用者が費用負担)
- 要約筆記用のモニター
- 車いす用傍聴スペースの確保
- 国に分かりやすい弁論をするよう指示
- 盲導犬も入廷可能
- 介助のためのペア席
- 筆談の準備

が最高裁を動かした結果だと評価する。

2018年1月に全国で初提訴した仙台訴訟。市民団体「優生手術被害者とともに歩むみやぎの会」によると、同年3月の第1回口頭弁論では、傍聴券を求めた抽選で障害者は外れ、介助者だけが当たるといった不都合が生じた。その後一緒に入れるよう仙台地裁に求め、協議を経て実現した。同会の及川智さん(45)は車いす利用者。「裁判所と何度もやりとりして配慮内容をブラッシュアップしてきた。一歩ずつ前進したと感ずる」と語る。

札幌訴訟では、たん吸引のための出入りや要約筆記が認められた。弁護団の小野寺信勝弁護士は「車いす用に法廷

のいすを外せるようにしてもらった。各地で、障害の種類に応じた取り組みを積み上げた」と振り返る。

課題も残る。法廷までのルートに案内役の手話通訳者2人を配置する一方、支援団体側が求めていた傍聴時の通訳者の費用負担は実現しなかった。支援団体は、必要な情報保障などとして、引き続き裁判所側に費用負担を求める。

「優生保護法問題の全面解決をめざす全国連絡会」の藤井克徳共同代表は「最高裁の対応は、下級審ではらばらだつた合理的配慮の統一的な基準になり得る」と指摘。「旧法訴訟を通して誰にでも開かれた裁判所を実現してほしい」と話した。

裁判 「傍聴の平等」について考える

解答例

年 組 名前

不妊手術を強いられた障害者らが起こした国家賠償請求訴訟で、最高裁判所は大法廷で開く弁論で、過去最大規模の配慮を行いました。傍聴の平等をめぐる現状や課題について、記事を読んでみましょう。

①最高裁は弁論で、どんな配慮をしておりますか。

【解答】 案内表示や傍聴券へのルビ、要約筆記用のモニターの使用、盲導犬の入廷、車いすスペース確保やスロープ設置

②配慮の背景には、各地の訴訟で当事者らが繰り返し要望してきた経緯があるようです。仙台訴訟と札幌訴訟で何が可能になったのか、次の表の（ ）に入る言葉を書きましょう。

仙台訴訟	傍聴券を求めた抽選で（ 障害者 ）は外れ、（ 介助者 ）だけが当たるといった不都合が生じた。その後（ 一緒 ）に入れるよう仙台地方裁判所に求め、協議を経て実現した。
札幌訴訟	たん吸引のための出入りや（ 要約筆記 ）が認められた。車いす用に（ 法廷のいす ）を外せるようにしてもらった。

③残る課題として、法廷までのルートに案内役の手話通訳者2人を配置する一方、何が実現していないのですか。

【解答】 支援団体側が求めていた傍聴時の通訳者の費用負担

④あなたの住む地域の公共施設で、障害者など困難がある人にどんな配慮がされていますか。調べてみましょう。また、さらに配慮した方がよいと思うことは何か、友達と話し合ってみましょう。

【解答】 略